

地域包括ケア病床のご案内

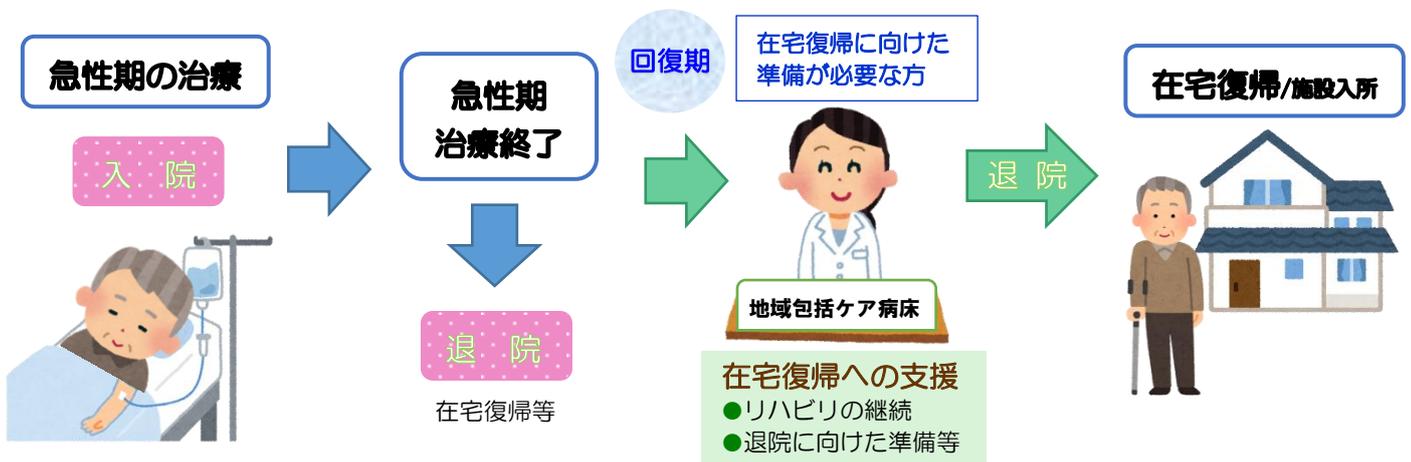
急性期から在宅復帰への橋渡しをお手伝い

地域包括ケア病床とは、急性期（一般）病床での治療は終了したものの、すぐにご自宅へ帰ったり、施設等へ入るには不安のある患者さんが、もう少しの間、入院療養を続け「在宅復帰に向けた準備を整える」ための病床です。

地域包括ケア病床では、「在宅復帰支援計画」を作成し、主治医を始め、看護師、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカー等が協力して、患者さんやご家族の意向を確認しながら、在宅復帰に向けた相談・準備等を行います。

■入院対象となる患者さん

在宅あるいは施設に復帰予定で、もう少しの間、リハビリや在宅復帰に向けた準備が必要な方です。



■入院期間および入院費について

- 入院期間は、保険診療制度上、「地域包括ケア病床」への入院後、最長で60日です。在宅復帰または施設への入所が決定すれば退院となります。
- 一日あたりの入院費は定額（地域包括ケア入院医療管理料）です。お薬や注射、簡単な処置、検査は一部を除いて費用に含まれます。（食事代、個室利用料、入院セット、おむつ代などは別料金となります。）

※地域包括ケア病床への入院にあたっては、患者さんの病状等を元に、院内の判定会議で協議の上、決定します。

※詳細は、病院職員におたずねください。